

大子町(だいごまち)

	町章	〒 319-3526	地域指定	一部事務組合加入事業	法人番号 3000020084425
	〈住所〉 久慈郡大子町大字大子866番地 〈TEL〉 0295-72-1111 〈FAX〉 0295-72-1167 〈HP〉 http://www.town.daigo.ibaraki.jp/ 〈e-mail〉 info@town.daigo.lg.jp	〈TEL〉 0295-72-1111 〈FAX〉 0295-72-1167 〈HP〉 http://www.town.daigo.ibaraki.jp/ 〈e-mail〉 info@town.daigo.lg.jp	過疎 辺地(一部区域) 山振(一部区域) 特定農山村	退職手当 消防賞しゅつ金 交通共 済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 農業 共済	公営企業 ※令和2年3月31日現在 法適用(上水) 法非適用(特定地域生 活排水)
類型	IV-1	地方公共 団体コード	083640	面積	325.76 km ²

<行政組織>

①長等(令和2年5月1日現在)

長	たかなし てつひこ 高梨 哲彦 (51歳)	任期	令和5年1月11日
副町長	赤津 康明		
就任回数	1 期目		

②議会(令和2年5月1日現在)

議長	齋藤 忠一	副議長	金澤 真人
任期	令和6年3月30日	条例定数	13 人
現議員数	13 人		
党派別	自民3人, 公明1人, 無所属9人		

③職員数(平成31年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
250	217	154	33
一般行政職の 平均給料月額	3,006 百円	ラスパイレ ス指数 98.8	地域手当 補正後 ラス指数 98.8
全職員数 の推移	平成28年4月1日	平成29年4月1日	平成30年4月1日
	253	252	250

④機構図(令和2年4月1日現在)

〈町長〉 一 〈副町長〉
総務課 まちづくり課 財政課 税務課 農林課 観光商工課 建設課 福祉課 健康増進課 生活環境課 (衛生センター, 環境センター) 町民課
〈会計管理者〉 会計課
〈消防本部〉 消防署
〈水道事業〉 水道課
〈教育委員会〉 教育委員会事務局
〈議会〉 議会事務局
〈行政委員会〉 農業委員会, 選挙管理委員会, 監査委員, 公平委員会, 固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

昭和30年3月31日 合併 大子町 依上村 佐原村 黒沢村 宮川村 生瀬村 袋田村 上小川村 下小川村の一部
--

②地勢・風土等

茨城県の最北西端に位置し、北は福島県、西は栃木県に接するやや南北に長いほほひし形の形をした広大な町である。面積の約8割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地である。気候は低温多雨の寒暖の差が大きい山岳気候で、この特性を活かしてお茶、りんご、こんにゃく、お米などの多くの特産物が生産されている。日本三名瀑の一つ袋田の滝をはじめ、県内最高峰の八溝山や男体山の秀峰、久慈川の清流、奥久慈温泉郷などの自然資源に恵まれた山紫水明の地で、年間150万人の観光客が訪れる観光と農林業の町である。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和2年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	10,743	9,780	8,765	7,746
	女	11,360	10,293	9,288	8,114
	合計	22,103	20,073	18,053	15,860
世帯数	7,356	7,140	6,733	6,440	

④有権者数(令和2年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	7,352	7,648	15,000	44.6 %

<産業・経済>

①生産・所得(平成29年度)

市町村内 総生産	523 億円	住民所得	429 億円
		人口1人当たり住民所得	2,498 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成29年度)	就業人口(平成27年国調)
第1次	3,391 6.5 %	1,383 15.9 %
第2次	14,512 27.7 %	2,714 31.3 %
第3次	34,103 65.2 %	4,582 52.8 %
総額・総数	52,301	8,855

③農業・工業・商業

業種	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
農業 (平成27年2月1日)	2,025	321	1,385
業種	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H29.1.1~12.31)
製造業 (平成30年6月1日)	43	1,014	19,278
業種	事業所数	従業者数	年間販売額 (H27.1.1~12.31)
卸・小売業 (平成28年6月1日)	281	1,146	16,933

④特産物

大子産米, 奥久慈茶, 奥久慈りんご, 生いもこんにゃく, 常陸大黒, 奥久慈しゃも, 久慈川の鮎, 大子漆(うるし), 大子那須楮(こうぞ)

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成29年度決算	平成30年度決算	増減率
歳入	9,862,116	9,451,813	△ 4.2
歳出	9,444,308	8,824,171	△ 6.6
形式収支	417,808	627,642	-
実質収支	365,623	615,674	-
単年度収支	△ 137,519	250,051	-
実質単年度収支	△ 286,319	△ 43,012	-

②主な歳入・歳出(平成30年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	9,452	-	△ 410	△ 4.2
地方税	1,760	18.6	△ 4	△ 0.2
地方交付税	3,686	39.0	△ 14	△ 0.4
国庫支出金	701	7.4	△ 236	△ 25.2
地方債	686	7.3	△ 130	△ 15.9
うち臨財債	266	2.8	△ 8	△ 2.9
その他	2,619	27.7	△ 26	△ 1.0
うち繰入金	388	4.1	145	59.7
歳出	8,824	-	△ 620	△ 6.6
義務的経費	4,082	46.2	4	0.1
人件費	1,967	22.3	20	1.0
扶助費	1,159	13.1	△ 75	△ 6.1
公債費	956	10.8	59	6.6
投資的経費	1,115	12.6	△ 292	△ 20.8
普通建設事業費	1,115	12.6	△ 284	△ 20.3
うち補助	453	5.1	△ 346	△ 43.3
うち単独	662	7.5	62	10.3
その他の経費	3,627	41.2	△ 332	△ 8.4
うち繰出金	983	11.1	△ 32	△ 3.2

③主要指標(平成30年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (14.49)
連結実質赤字比率	- % (19.49)
実質公債費比率	3.3 % (25.0) [6.8]
将来負担比率	23.8 % (350.0) [37.1]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和元年度)	0.331	[0.706]
経常収支比率	87.6 %	[91.7]
標準財政規模(令和元年度)	5,976	百万円 [15,286]
地方債現在高(A)	9,811	百万円 [25,539]
債務負担行為支出予定額(B)	836	百万円 [5,524]
積立金現在高(C)	3,672	百万円 [7,235]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	6,975	百万円 [23,829]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成30年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	589,901 (31.6)	566,174 (32.2)	96.0 [96.5]
市町村民税・法人 (構成比)	106,230 (5.7)	103,893 (5.9)	97.8 [98.7]
固定資産税 (構成比)	967,209 (51.8)	892,172 (50.7)	92.2 [96.1]
市町村税合計 (国保除く)	1,865,436	1,760,300	94.4 [96.6]

<公共施設整備状況>(平成30年度) ※1は令和元年度

小学校 ※1	6 校	プール	0 か所
中学校 ※1	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	1 園	老人福祉施設	9 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	8 か所
認定こども園 ※1	0 園	道路改良率	40.1 %
図書館	0 か所	道路舗装率	65.3 %
公営住宅	223 戸	上水道等普及率	99.3 %
公民館等	3 か所	汚水処理普及率	48.0 %
体育館	2 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
中心市街地排水 処理対策事業全 体計画策定	R2	常陸大子駅前の中心市街地において、恒久的な排水計画を策定するに当たり、その前段として町堀や側溝の断面・勾配、表面水の流れなどを調査し、内水流量の全体を把握する。	6
ブリティッシュヒ ルズ英語研修	R2	英語のスキル及びコミュニケーション能力向上と国際課社会に対応する人材育成を目的として、中学校第2学年の全生徒を対象に、英語研修施設において宿泊を伴う研修を行う。	3
企業誘致推進事 業	R2	企業立地の促進を推進し、地域経済の発展と雇用の促進を図る。また、町民や観光客が求めるような新たな事業やコミュニティを創出する企業人・仕掛け人を発掘し、魅力的な事業が次々と創出されるまちづくりを目指す。	7
奥久慈サイクル ツーリズム	R2	レンタサイクル事業を展開し、奥久慈里山ヒルクライムコースをはじめとするサイクリングエリアの認知度を高め、交流人口の増加を図る。	12
新庁舎建設事業	R2	機能性や効率性を追求し建設コストの削減に努めるとともに、災害時においても継続して事業を行える、防災の拠点となる庁舎整備を図る。	909

②今後の主要課題・特色ある行政等

1 誰もが安心・安全を実感できるまちづくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりの推進 ・誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりの推進 ・福祉や健康長寿、生活環境の充実
2 次世代を担う若い世代への投資を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生等への教育の充実による未来の担い手の育成 ・若い世代への支援の充実による町を支える人材の確保
3 地場産業の未来を応援し足腰の強い大子町を創造する	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業や中小企業への支援の強化 ・就労機会の創出など雇用対策の促進
4 民間企業等との連携により外部ノウハウを活用した魅力向上策の刷新を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・奥久慈の大自然を活かした新たな観光と交流の創生 ・観光資源の積極的なプロモーションと町全体の魅力向上
5 魅力あふれる住み良いまちを創造する	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設の推進と行政サービスの質的向上 ・中心市街地活性化による賑わいのあるまちづくりの推進